

第201回幹事会議事要旨

日 時 平成26年9月19日（金）13：30～19：15

場 所 日本学術会議大会議室

出席者 （会長） 大西 隆

（副会長） 小林 良彰、家 泰弘、春日 文子

（第一部） 佐藤 学、大沢 真理、井野瀬 久美恵、杉田 敦

（第二部） 山本 正幸、生源寺 眞一、須田 年生

（第三部） 荒川 泰彦、巽 和行、相原 博昭、土井 美和子

（事務局長） 田口 和也

（事務局次長） 山田 淳

（課長等） 吉住 啓作、檀原 均、中澤 貴生、盛田 謙二、佐藤 正一

審議事項等

- 1 前回議事要旨の確認が行われた。
- 2 前回の幹事会以降の諸報告事項について確認が行われた。
- 3 以下の公開審議が行われた。
 - (1) 報告「学術分野における男女共同参画促進のための課題と推進策」について、科学者委員会男女共同参画分科会の江原委員長及び小館副委員長より説明があり、審議の結果、所要の修正を行い、会長の確認を得ることを条件に承認した。
 - (2) 提言「ロボット活用による社会課題解決とそれを支える先端研究の一体的推進方策 ～社会共創ロボティクス～」について、機械工学委員会ロボット学分会の佐藤委員長より説明があり、審議の結果、所要の修正を行い、会長及び第三部の確認を得ることを条件に承認した。
 - (3) 高レベル放射性廃棄物の処分に関するフォローアップ検討委員会暫定保管に関する技術的検討分科会の山地委員長より報告「高レベル放射性廃棄物の暫定保管に関する技術的検討」について、高レベル放射性廃棄物の処分に関するフォローアップ検討委員会暫定保管と社会的合意形成に関する分科会の柴田副委員長、寺西幹事及び長谷川委員より報告「高レベル放射性廃棄物問題への社会的対処の前進のために」について、それぞれ説明があり、続いて、両分科会からの報告の整合性に関する高レベル放射性廃棄物の処分に関するフォローアップ検討委員会の今田委員長のコメントについて家副会長から紹介があった。審議の結果、両分科会の報告について、それぞれ承認した。
 - (4) 提言「発電以外の原子力利用の将来のあり方について」について、原子力利用の将来像についての検討委員会原子力学の将来検討分科会の家委員長より説明があり、審議の結果、所要の修正を行い、会長の確認を得ることを条件に承認した。
 - (5) 提言「我が国の研究力強化に資する若手研究人材雇用制度について」について、我が国の研究力強化に資する研究人材雇用制度検討委員会の五神委員長より説

明があり、審議の結果、所要の修正を行い、会長及び家副会長の確認を得ることを条件に承認した。

- (6) 提言「気候変動下の大規模災害に対する適応策の社会実装—持続性科学・技術の視点から—」について、土木工学・建築学委員会地球環境の変化に伴う風水害・土砂災害への対応分科会の小松委員長及び望月副委員長より説明があり、審議の結果、所要の修正を行い、会長及び第三部の確認を得ることを条件に承認した
- (7) 報告「東京電力福島第一原子力発電所において発生した事象の検討」について、総合工学委員会原子力事故対応分科会の松岡幹事及び成合委員より説明があり、審議の結果、分科会において改めて検討することとなった。
- (8) 報告「理学・工学分野における科学・夢ロードマップ 2014（夢ロードマップ 2014）」について、第三部の荒川部長より説明があり、審議の結果、承認した。
- (9) 提言「ユビキタス状況認識社会の構築と時空間データ基盤の整備について」について、情報学委員会ユビキタス状況認識社会基盤分科会の坂村委員長より説明があり、審議の結果、承認した。
- (10) 提言「科学者からの自主的な科学情報発信を実現する組織」について、科学者からの自律的な科学情報の発信の在り方検討委員会の高橋委員長及び今田幹事より説明があり、審議の結果、分科会において改めて検討することとなった。
- (11) 報告「地球に生きる素養を身につけよう『地球が好きになる教育の勧め』」について、地球惑星科学委員会社会貢献分科会の北里委員長及び大路委員より説明があり、審議の結果、分科会において改めて検討することとなった。
- (12) 韓国行政研究院（KIPA）に講演者として会員を派遣することを決定した。
- (13) アジア学術会議役員会議及び第 15 回アジア学術会議大会準備への会員の派遣及びアジア学術会議役員会議に外国人を招聘することを決定した。
- (14) 「日本学術会議の行う国際学術交流事業の実施に関する内規」の一部を改正することについて、所用の修正を行った上で決定した。
- (15) 「会長補佐の指名等について」の一部を改正することを決定した。
- (16) 1 件の国内会議の後援を決定した。
- (17) 「第 23 期における委員会について」を決定し、それを踏まえ、幹事会附置委員会の廃止（廃止 6 件）を決定した。

○廃止

- ・日本の展望委員会
- ・東日本大震災に係る学術調査検討委員会
- ・科学者に関する国際人権問題委員会
- ・東日本大震災復興支援委員会
- ・日本学術会議改革検証委員会
- ・大学教育の分野別質保証委員会

4 以下の非公開審議が行われた。

- (1) 日本学術会議の活動状況等に関する年次報告(平成 25 年 10 月～平成 26 年 9 月)を決定した。